

「表現の不自由展・その後」 の再開は実現可能です！

今こそ声をあげよう！今こそ行動しよう！

「見たかったのに！」国際的な美術展であるあいちトリエンナーレ 2019 のメイン企画の一つ「表現の不自由展・その後」が卑劣な脅迫と河村たかし名古屋市長をはじめとする政治家による圧力によってわずか開催開始3日間で中止となってしまいました。しかし作品は薄い一枚の壁によってのみ私たちと隔てられているだけです。そしてあいちトリエンナーレ 2019 の開催期間は10月14日（日）までです。脅迫と圧力によって作られた壁をみんなの声と行動で取り払い「見たかったのに！」の気持ちを晴らしましょう！実際に作品を見て、触れて、感じて、おおいに議論しましょう！当たり前の表現の自由を、そしてそれに基づく対話を、民主主義を享受しましょう！そのためにも全体の実行委員会は今すぐ展示再開に向けて行動しましょう！

政治的な理由による脅迫と圧力による中止はあいちトリエンナーレ 2019 全体の成功をも揺り動かしています。現在11名もの作家が展示室の閉鎖、中止、などによって脅迫と圧力への抗議、そして再開をもとめる意思表示を行っています。このような状態はトリエンナーレ自体が卑劣な脅迫、圧力、検閲によって激しく圧迫されている異常な状態であること、そしてだからこそ私たち市民、表現者が声をあげ行動する時であることを示しています。みなさん今すぐ脅迫、圧力に抗議し再開をもとめる声を、そして行動をしましょう！

また今45を超える団体が再開をもとめる声明を出し、3つの団体の署名は合計4万筆を超えています。そして8月24日（土）には栄公園で集会を行い多くの市民、再会をもとめる表現者、企画展出品作家が集い、発言を行いました。みなさんが自分の心から思うことを、自分が本当に大事にしていることを訴えました。表現の自由への不当な介入、歴史修正主義、民族差別、性暴力に対する怒りと抗議、心なく不当な政治家の発言への怒りを訴え再開をもとめました。とくに学生からは「私たちから考える機会を奪わないでください！」との叫びが紹介されました。今こそこのように思い、叫び、声、そして行動に応じて再開への大きな動きにしていきましょう！

裏面に具体的な行動の提案と活動報告、そして会の紹介を
掲載しています。是非読んでください！

「表現の不自由展・その後」の再開をもとめる愛知県民の会

resumetheexhibition@gmail.com

再開をもとめる インターネット署名

①change.org 「あいちトリエンナーレ『表現の不自由展・その後』の作品撤去・中止をしないでください。」（発信者 iguchi daisuke）
②あいつり「表現の不自由展」及び《平和の碑》展示中止反対署名（あいつり《平和の碑》撤去に反対する有志グループ一同）

検索・署名・拡散を
よろしくお願いします！

再開をもとめる スタンディング活動

毎日午前 10 時～11 時まで愛知芸術文化センター前の地下鉄栄駅 4 番出口地上付近にて再開をもとめるスタンディングを行っています。是非ご参加を！お問い合わせは直接現地に行く、もしくはメールで。

あなたも再開をもとめる
スタンディングに是非！

団体に所属されている方は 是非団体での声明、要請を！

現在 45 以上の団体から再開をもとめる声明や要請が出されています。是非団体での声明と要請を働きかけてみてください。そして私たちは共同要請書への参加と拡散を呼びかけています。ブログを是非ご覧ください。

再開をもとめる声明や要請
を実行委員会に是非！

各種情報の確認と拡散を！ 県民の会への参加を！

「表現の不自由展・その後」の再開をもとめる愛知県民の会は中止を受けて 4 日に愛知芸術文化センターで脅迫と圧力に抗議していた人々で急遽結成された団体です。歴史修正主義を許さず歴史の事実、とりわけ旧日本軍性奴隷制度の事実の歪曲、隠蔽を許さない、そして表現の自由を守る、の 2 点を活動理念に企画展の再開をもとめて活動しています。

あなたの参加を心から歓迎します！

「表現の不自由展・その後」の再開をもとめる愛知県民の会

Twitter <https://twitter.com/SaikaiAichi?s=17>

Facebook <https://www.facebook.com/saikai.motomeru.aichi/>

Blog <http://resumetheexhibition.seesaa.net/>

Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCzf32y7pGYQs3phsNxvAXpg?>